

◇大学紹介

○大学の概要

・愛媛大学は、法文学、教育学、社会共創学、理学、医学、工学、農学の7学部と大学院がある総合大学で、学生数は約10,000人である。

・附属の幼稚園、小学校、中学校、高校、特別支援学校があり、これらの学校での授業に外国人留学生が参加する機会も多い。

・本学のある愛媛県松山市は日本の他の都市と比べて物価が安く暮らしやすい地域である。交通手段は自転車ですぐに大学から市中心部へも自転車で5分以内で行くことができる。

○国際交流の実績 (2023年10月1日現在)

	2023年度	2022年度	2021年度
留学生数	217	204	223
教員研修留学生受入数	0	4	2

◇教員研修コースの概要・特色

本研修コースの特徴は、日常生活で最低限必要な日本語表現と生活習慣を、専門教育・日本語集中コース開始前に修得できるよう設計されている点である。また、日本語の授業では、地域住民による支援体制が整っている。

○受入定員：5名

○奨学金支給期間：2024年10月～2026年3月

○コースの修了要件

指導教員によって異なるが、概ね600時間の授業・演習・論文指導を受け、研究報告書を提出することが修了要件となる。

○研修コースの概要

・日本語教育

a) サバイバルコース：入学直後2週間、日常生活に最低限必要な日本語表現と生活習慣を学ぶことができる。

b) オリエンテーション：入学直後に2日間実施され、学生生活で不可欠な情報が提供される。続いて行われるウェルカムパーティーでは、日本人学生も含め多くの学生と知り合うことができる。

c) 予備教育コース：日本語及び日本文化・日本事情の講義を1学期間集中的に実施する。「Studies on Japanese culture」など英語で行われる授業も用意されている。

d) 通常コース：上記のコース受講後、引き続き学習できる様々なクラスを開講している。

・専門教育

a) 半年間の日本語予備教育コースの後、それぞれの専門分野に応じ、学部の専門教育を受けることができる。専門教育は、教員のアドバイスにより学習計画を立て、それをもとに必要な指導を指導教員から受けることになる。

b) 学習計画：研修生の希望に沿って立てることができる。研究分野によっては、フィールドワークや実験・調査・授業観察にも参加できる。研修の終わりには研究報告書の提出が必要。

・見学・地域交流等の参加型科目

実地見学旅行：日本の歴史や文化に触れる機会として、県内外への研修旅行が実施される。

◇修了生へのフォローアップ

研修終了後も、担当教員がメールやWeb会議システムを通じて指導する。

◇宿 舎

大学所有の宿舎がありますが、入居希望者が多い場合は入居できません。その場合は、愛媛大学生協を通じてキャンパス周辺の民間アパート（初期費用約20万円）を紹介します。

大学所有の宿舎 ※渡日前に宿舍料を前納する必要はありません。

	御幸学生宿舎	国際交流会館
室数	単身用 約70室	単身用 30室 世帯用 4室
月額費用	約22,000円	約13,000円 (世帯用25,000円)
設備備品	風呂、トイレ、机、椅子、ベッド、エアコン、IH調理器、冷蔵庫(建物内にコインランドリー、売店)	風呂、トイレ、机、椅子、ベッド、エアコン、ガスコンロ、オープンレンジ、冷蔵庫、洗濯機
通学時間	自転車ですぐ10～15分	自転車ですぐ30～40分

◇問合せ先

所在地 〒790-8577 愛媛県松山市文京町3

担当部署 国際連携支援部国際連携課

TEL: +81-089-927-9157

E-mail kokuryu@stu.ehime-u.ac.jp

HP <http://web.isc.ehime-u.ac.jp/>

シラバス <https://campus.ehime-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx?>